



学部長ごあいさつ

保健医療学部長 大日向 輝美

立て続けに北海道を襲った台風は、各地に大きな被害をもたらしました。大雨・洪水により被害を受けた地域にお住まいの方々に心からお見舞いを申し上げます。復興・復旧のご苦労は大変なものとお察ししますが、1日でも早く安定した生活を早く取り戻すことができるようにお祈りいたします。

大規模災害の発生時には、様々な医療支援が必要です。従来、災害医療と言えば、医師・看護師を中心とする救命救急に視点が当たっていましたが、東日本大震災を機にリハビリテーション専門職による支援の必要性が認識され、平成25年には災害派遣法の適応職種に指定されました。熊本地震に際しては、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）より派遣された理学療法士・作業療法士等が被災地に入り、生活不活発病の発症、災害関連死の予防を目的とする医療活動を行っています。



本学は、東日本大震災の発生直後に医療チームの派遣を決め、長期にわたって医療支援を行いました。保健医療学部はその中に理学療法士・作業療法士を含めることを提案し、理学療法学科・作業療法学科の教員がチームメンバーとして医師・看護師等と連携し、避難所での医療活動を展開しました。当時、リハビリテーション職種の派遣はほとんど行われていませんでしたが、保健医療学部ではその必要性をいち早く認識し、他に先駆けて理学療法士・作業療法士による医療支援を行いました。改めて振り返ってみると非常に先見性のある対応でありましたが、前例が無かっただけに派遣された先生方は試行錯誤の中での活動であったろうと思います。

このような災害支援の経験や、最近の自然災害の多発、今後の災害発生の可能性を考慮しますと、北海道の地域医療を支える大学として災害医療に関する教育を強化し、また、災害発生時の組織対応について、そのあり方を検討する必要性があると考えています。

さて、夏休みも終わり、9月26日から後期授業がスタートしました。1年生は、3学科とも初めての臨床実習が待ち受けています。徐々に緊張が高まっていくと思われませんが、事前の準備をしっかりと整え、程よい緊張感をもって臨んでください。2年生は、専門科目が一気に増えて、学習課題も多くなります。学習時間を十分に確保できるように、時間の使い方を工夫してください。3年生は、将来の専門職としての意識を高めていく大切な時期です。この半年の取り組みが将来に大きく影響することを認識し、腰を据えて日々の学習に取り組んでください。4年生は、いよいよ残り半年の学生生活となりました。就職試験、卒業研究、国家試験と、ストレスの多い数ヶ月です。悔いを残すことのないように1日1日を大切に過ごし、国家資格を手にして卒業を迎えてくれるように願います。

保護者の皆さまにおかれまして、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【平成28年度 前期学事 実施報告】 (1~4学年)

(4学年共通)	(3年生)	(4年生)
4月 8日	入学式	8月 1日 ~ 8月 26日
4月 11日 ~ 4月 13日	「保健医療総論1~4」	8月 29日 ~ 9月 15日
4月 14日 ~	前期講義開始	9月 12日 ~
6月 9日 ~ 6月 12日	大学祭	
6月 25日	大学記念日	4月 18日 ~ 9月 23日
		5月 9日 ~ 8月 5日
		7月 26日 ~ 8月 2日
		8月 4日 ~ 8月 19日
		8月 10日 ~ 9月 16日
		7月 28日 ~ 8月 12日
		8月 22日 ~

(4学年共通)

4月 8日

入学式

(3年生)

8月 1日 ~ 8月 26日

夏季休業

4月 11日 ~ 4月 13日

「保健医療総論1~4」

8月 29日 ~ 9月 15日

前期定期試験

4月 14日 ~

前期講義開始

9月 12日 ~

臨地実習 (看護)

6月 9日 ~ 6月 12日

大学祭

(4年生)

4月 18日 ~ 9月 23日

臨床実習 (作業)

6月 25日

大学記念日

5月 9日 ~ 8月 5日

〃 (理学)

(1・2年生)

8月 1日 ~ 9月 2日

夏季休業

7月 26日 ~ 8月 2日

前期定期試験 (看護)

9月 5日 ~ 9月 21日

前期定期試験

8月 4日 ~ 8月 19日

夏季休業 (看護)

8月 10日 ~ 9月 16日

〃 (理学)

7月 28日 ~ 8月 12日

〃 (作業)

8月 22日 ~

臨地実習 (看護)



学内行事の紹介



保健医療セミナー【平成28年7月15日開催】

このセミナーは、平成27年度より開催しているキャリア形成を支援する活動です。保健医療学部2年生および3年生が、北海道で活躍する保健医療専門職の実際を理解し、将来、自分たちが就く専門職に対するキャリアイメージを具体的に持てること、そしてその役割について考えることを目的としています。

今年度のテーマは『在宅医療～その人らしさを支える専門職の役割』で、講師には梶原陽子氏（札幌医療生活協同組合 在宅療養支援診療所 ホームケアクリニック札幌 看護師長）、櫻田周氏（社会福祉法人札幌山の手リハビリセンター ケアセンター栄町 施設長・理学療法士）、伊藤玲氏（有限会社ウィルみかん訪問看護ステーション 取締役・作業療法士）を迎えました。セミナーの前半は講演会、後半は講師との討論会を行いました。

講演会では、各講師が所属する職場における自身の役割や、利用する対象者の方との関わり方などについて、具体的な事例を挙げてお話いただき、討論会では、在宅医療に興味を持ったきっかけや在宅医療の現実について、各専門職の立場からお話いただきました。

参加した学生からは「対象者の方の生活に関わり、支えるためには、専門知識はもちろん、色々なことに挑戦し自身の経験値を上げることも大事だとわかった。」「成功経験の他、難しさや葛藤について、現場の生の声を聞くことができて、興味深かった」「地域医療に関わりたいと思っているが、講演を聴いて、その中でも在宅医療に関わり貢献してみたいという気持ちがわきあがった」などの感想が寄せられ、在宅医療における各専門職の役割について認識した様子でした。

情報セキュリティ講習会【平成28年7月17日開催】

情報をどのように扱うかはどのような仕事においても重要な時代ですが、保健医療の世界においては個人情報に触れることが多いため、安全に情報を扱う術を身につけておく必要があります。本講習会では、情報技術の中核で働くNECの職員の方に講師をお願いし、セキュリティに配慮した情報の扱い方の基本やソーシャルネットワークを扱ううえで陥りやすい失敗例、悪意のあるソフトなどから情報の漏洩を防ぐ方法などを実例や映像を交えて講義していただきました。学生からは、わかりやすく実践的な内容だった、といった声が聞かれました。



オープンキャンパス【平成28年8月4日開催】

オープンキャンパスは本学部の入学を希望される受験生にキャンパスを直接体験していただくため開催しています。当日はたくさんの受験生や保護者の方々が本学を訪れ、様々なプログラムに参加しました。

プログラムの1つである在学生による学生生活紹介・学科説明では、看護学科4年太田麻紀子さん、熊谷勝人くん、理学療法学科3年佐藤蓮くん、西川小雪さん、作業療法学科3年佐藤大樹くん、鈴木沙季さんが各学科を代表して、学内授業や臨床実習、学科の雰囲気などそれぞれの学科の特徴について、作成したパワーポイント資料を使いながら説明を行ってくれました。

参加した受験生からは「先輩方の生の声が聞け、今後の進路を考える上で役に立った」「大学での1日の過ごし方や時間の使い方を知ることができたためになった」「札幌医大のよさ、他の養成校との違いを丁寧に話してくれてとても身になった」などの感想が寄せられました。



保護者懇談会【平成28年8月25日】

この保護者懇談会は、本学に在籍する学生が個々の目標を達成し、有意義な大学生活をすごせるよう大学と保護者の皆様との連携を深めていくための機会として平成25年度より実施しています。今年度は27名の保護者の皆様にご参加いただきました。

懇談会では、大日向学部長から学部教育の概要、施設整備状況について、仙石教務委員長から学生支援状況について、各学科の学科長から実習内容や実習までの学習について説明がなされました。その後、希望者を対象とし、保護者と学生担当教員との個別相談会も行われました。ご参加いただいた保護者の方からは、「4年間の学習の流れがよくわかった」「今後も機会があれば参加したい」などの感想が寄せられました。



授業の紹介 ～保健医療総論～



「保健医療総論」は、医療人として、社会人としての基盤を作るため、4年間を通して3学科が合同で学ぶカリキュラムです。各学年の学習内容を紹介します。

『保健医療総論 1』

1年生が入学して初めて受講する「保健医療総論 1」では、4年間の大学生活や卒業後の社会生活に必要な基本的なコミュニケーション技術を学ぶことを目的として、講演やグループワーク、さらに本学および附属病院の教職員を対象としたインタビュー等を実施しています。保健医療職として要求されるコミュニケーション力を培う姿勢を身につけることを学習目標としています。

学習を終えた1年生からは、「自分の考えが相手にどう見えているかを想像する大切さを改めて感じる事ができた」「多くの人とのコミュニケーションを大切にすることで価値観や考えを共有し、自分の視野をひろげることができるといった」「敬語の重要性やTPOをわきまえた言葉遣いについて深く考えることができた」といったレポートが出されました。



『保健医療総論 2』

2年生が学ぶ「保健医療総論 2」では、1年生で学んだ対人マナーなどの基本的スキルを活かし、専門科目の履修が本格的に始まる前の早期に保健医療福祉の対象となる人々と実際に関わってもらう内容としています。本科目では、高齢社会に伴いその支援が重要視されている介護保険制度下の介護老人保健施設、介護老人福祉施設、通所サービスで実習を行っています。実習では、高齢者と実際にコミュニケーションをとったり、援助場面の見学や参加をすることで、対象者の理解に基づいたコミュニケーションの重要性と保健医療職の機能を知ることを目的としています。



実習を終えた学生からは、「高齢者の状況に沿った効果的なコミュニケーションの大切さを実感した」「様々な視点から対象者の生活を把握することが重要であると分かった」などの感想が述べられていました。

『保健医療総論3』

3年生が学ぶ「保健医療総論3」では、自分の専門分野以外の保健医療職に同行する実習を行います。実習での体験や指導者との意見交換、学生同士でのグループワークを通して他職種の特徴を理解すること、そこから多職種での連携について考えることを目的としています。看護学科の学生は理学療法士あるいは作業療法士に同行して、理学療法学科・作業療法学科の学生は看護師に同行して、各職種の臨床現場での動きを実際に見ることで、専門性への理解を深めます。

実習を終えた学生からは「今まで他職種について理解していなかったのではないかと感じるほど、今回の実習を通して具体的なイメージを持つことができた。」「実際に現場で働いている他職種が自身の職種についてどう思っているか、どのように考えて連携しているかを直接聞ける貴重な機会だった。」といった感想が聞かれています。



『保健医療総論4』

4年生が学ぶ「保健医療総論4」では、障がいを持つ患者様に大学へお越しいただき、直接ご本人にインタビューを行います。3学科の学生で構成する小グループごとに、現在困っていることやご希望を聞きだし、身体の状態を観察することで、ケアプランを作成します。このケアプランはご本人にプレゼンテーションし、感想やフィードバックをいただきます。この一連の学習を3日間かけて行なうことで、各職種の専門性や役割についての相互理解が深まり、保健医療職としての意識が形成されます。



【平成28年度 後期学事予定】（1～4学年）

(4学年共通)

9月26日～	後期講義開始
10月20日～10月22日	体育祭
12月9日	文化芸術祭
12月26日～1月06日	冬季休業
3月17日	卒業式

(3年生)

9月12日～2月24日	臨地実習(看護)
9月26日～10月7日	臨床実習(作業)
1月30日～2月3日	後期定期試験(理学)
2月6日～3月17日	臨床実習(理学)
2月13日～3月3日	後期定期試験(作業)

(1・2年生)

1月16日～1月20日	臨床実習(1年生作業)
1月23日～1月27日	臨地実習(1年生看護)
1月30日～2月10日	臨地実習(2年生看護)
2月20日～3月3日	後期定期試験

(4年生)

8月22日～11月18日	臨地実習(看護)
--------------	----------

